

当金庫の沿革

大 正

12年 有限責任目黒信用組合設立(初代組合長 島村菊次郎)

昭 和

3年 第二代組合長 須田鋤治 就任	49年 二葉支店を開設
23年 第三代組合長 松沢幾太郎 就任	日本銀行歳入代理店認可
24年 第四代組合長 鍋木太郎 就任	54年 全国銀行内国為替制度に加盟
26年 中小企業等協同組合法に基づく信用協同組合に組織変更、 名称を目黒信用組合と改称	55年 不動前支店を開設
27年 手形代理交換加盟	56年 第八代理事長 丸井大陸 就任
28年 信用金庫法の施行に伴い目黒信用金庫に組織名称変更 三谷支店を開設 東京都公金収納事務取扱を開始	現金自動支払機(CD)を導入
29年 第五代理事長 島崎七郎 就任	57年 全信連外国為替取扱を開始 預金量500億円達成
30年 第六代理事長 鍋木太郎 再任	58年 現金自動預入支払機(ATM)を導入 金融機関の週休2日制(第2土曜日)の実施
34年 全信連代理業務取扱を開始	59年 しんきん自動通知システムに加入
36年 内国為替取扱を開始	60年 全信連と外国為替取引斡旋に関する契約を締結
37年 洗足支店を開設	61年 日本銀行国債代理店認可(本店) しんきんデータ伝送システム稼働
41年 預金量50億円達成 梅丘支店を開設	中町支店を開設
45年 預金量100億円達成 鵜の木支店を開設	62年 預金量700億円達成 長期利付国債及び中期利付国債の売買業務開始
46年 信金東京共同事務センターにオンライン加盟	63年 第九代理事長 貝川肇 就任
48年 第七代理事長 浅海行夫 就任 日本銀行と当座取引開始	西小山支店を開設

平 成

1年 預金量900億円達成	20年 目黒区しんきん「暴力団等排除対策協議会」設立 目黒区地球温暖化対策地域協議会へ参加し、推進計画の策 定に協力 「めぐもシステム」の決済業務を開始(目黒区内商店街のポイン ト制度) 社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会に入会
2年 上目黒支店を開設	21年 しんきん暴力団等排除対策協議会「振り込め詐欺撲滅キャン ペーン」を実施 「エコキャップ運動」の取組みを開始
3年 預金量1千億円達成	22年 「地域金融円滑化の基本方針」を策定し「金融円滑化推進 チーム」を立ち上げる 各種預金等規定へ「反社会的勢力排除条項」を導入
5年 FAX・OCR為替集中発信システム導入	23年 全職員が認知症サポーター講座を受講し、「認知症サポー ター」となる
9年 第十代理事長 田中宏 就任	24年 第十二代理事長 矢部甲子 就任 「経営革新等支援機関」(中小企業経営力強化支援法)に認定
10年 早期是正措置の導入に伴い自己査定実施	25年 「しんきん電子記録債権サービス」を開始 AED(自動体外式除細動器)の全店導入が完了 創立90周年を迎え記念感謝デーを実施
11年 インターネットホームページを開設	26年 本部内に経営支援課(現「事業支援課」)を設置 警視庁より、自転車安全利用モデル企業に指定される 「信金発! 地域発見フェア」(東京ドーム)へ参加
12年 法人キャッシュカード取扱開始 しんきんゼロネット取扱開始	27年 「一般社団法人 しんきん成年後見サポート」の設立に参加
13年 ATM土日祝日入金機能追加稼働開始 わかば信用金庫から荏原支店を事業譲受 東京共済病院出張所を開設 第十一代理事長 伊藤昌明 就任	28年 第1回目黒シティラン〜健康マラソン大会〜に協賛
14年 コンビニ収納サービス取扱開始 目黒区役所出張所を開設	29年 三谷支店 新築オープン
15年 個人版インターネットバンキングサービスを開始	30年 後見制度支援預金の取扱を開始
16年 法人・個人事業主版インターネットバンキングサービスを開始 マルチペイメントネットワークサービスの取扱を開始 生命保険の窓口販売開始	
17年 商工中金との業務協力を開始 当金庫ATMで他行カードによる振込業務を開始 「地域密着型金融推進計画」を策定 マルチペイメントネットワーク口座振替受付サービスを開始 「お客さまアンケート」を実施	
18年 「めぐろグリーンアクションプログラム」へ参加	
19年 改正「本人確認法」の施行により、現金によるATMでの振込 が10万円以下となる	

令 和

1年 得意先活動の効率化のため、タブレット端末を導入 ホームページリニューアル	3年 第97期総代会を開催
2年 ホームページの常時SSL(https)化の開始	